

令和9年度版 高等学校芸術科書道教科書

内容解説資料

表現 ↑↓ 鑑賞

令和8年
新刊

往還学習で深い学びへ

教育図書の書道は
生徒に寄り添い、使いやすい！
ぜひ紙面をご確認のうえ
ご検討ください。



▲『書I』
[書I 006-901]



▲『書II』 [書II 006-901]



▲『書III』 [書III 702]


人に暮らしに 学びに まっすぐ
教育図書株式会社

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

表現編 ⇄ 鑑賞編


往還学習で学びを深める

「書へのいざない」から「表現編」「鑑賞編」の2部構成を往還することで、技術の向上だけでなく、書道を通じて自己の内面と向き合い、人間的な成長を促し、豊かな表現力を養うことができます。



顔氏家廟碑

鑑賞編



書へのいざない

見て知る 知って見る

書へのいざないは鑑賞の学びのめあてになる!



碑と拓本

資料書の文化



表現編

顔氏家廟碑

次期学習指導要領でも重視される「技能を働かせて表現や鑑賞を行う往還」を先取り構成!

学びを深める 往還学習!

書へのいざないで表現の学びに導く!

生徒に寄り添い、使いやすい! 教育図書「書道」教科書

「芸術での学習を豊かな社会の創造や幸福な人生に生かして欲しい!」の思いから生まれました。「書く」と「見る」がシームレスにつながる構造で、使いやすさを重視したコンパクト設計です。資料も充実しています!



教育図書の「書道」3つのポイント!

Point ③

表現活動と鑑賞活動、それぞれを互いに高め合う。

表現と鑑賞の往環学習!

詳細は → p.8

Point ②

作品と出逢うきっかけはできるだけ多い方が良い。

圧倒的な資料の数!

詳細は → p.7

Point ①

鑑賞の大切さを鮮明で臨場感あふれる図版で追求!

表現編の図版が大きくきれい!

詳細は → p.5



表現編

表現編では、書に関する基礎・基本的な知識・技能の習得と確実な定着をはかります。

作品を見ながら、何度でも確認しながら自分なりの表現を見つけていきましょう！



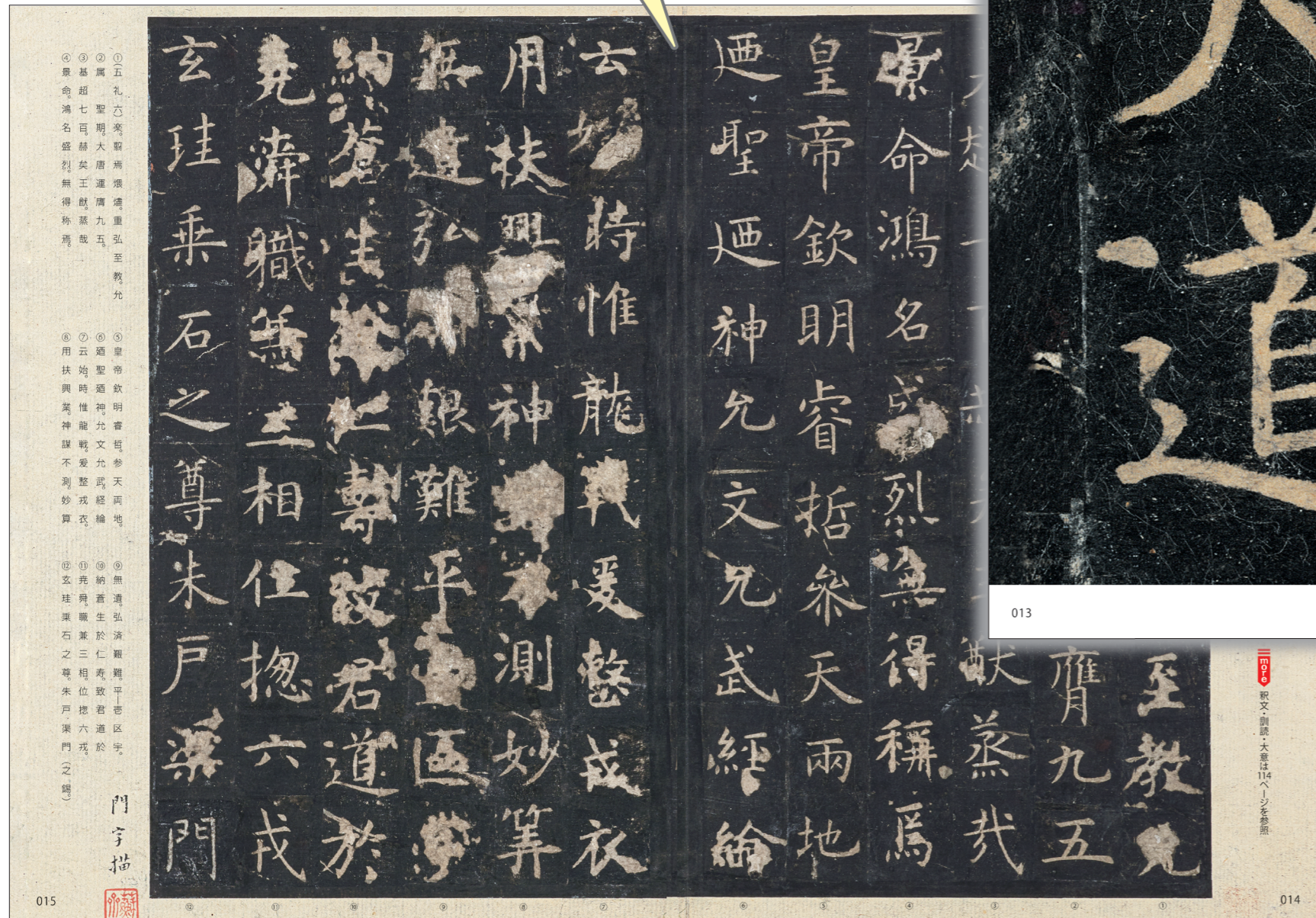
学習に役立つデジタルコンテンツ！

左上の二次元コードからデジタルコンテンツに飛ぶことができます。タブレットで筆順や運筆の確認ができます！

原寸大・見開きの作品を掲載。

忠実に再現された紙面は圧倒的な臨場感です。

[書I 006-901] p.14-15



教育図書の書道 Point ①

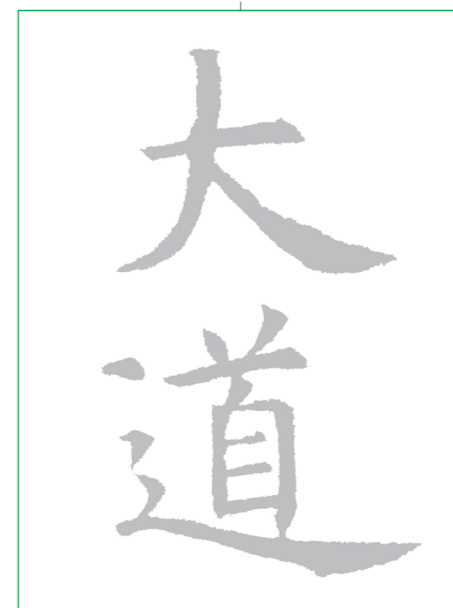
表現編の図版が大きくきれい！

鑑賞の大切さを鮮明で臨場感あふれる図版で追求！

[書I 006-901] p.12-13



013



孔子廟堂碑

唐・虞世南(五五八〜六三八)
唐・六二八〜六三〇年頃

誰もが認める整った楷書。揺るぎない美しさと品格の高さは、楷書の王道です。

漢字の書

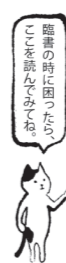
書道

012



三つの視点

書風を読み解くヒント
上段の図版に、左右の中心線と、それぞれの文字の外形を白線で書き込むと、字形や構成が見えてきます。また、横線の起筆の角度や、線の太さ、大道の右払いの長さや角度など、孔子廟堂碑の用筆・運筆の特徴が表れています。



臨書の時に困ったら
この図版を参考に

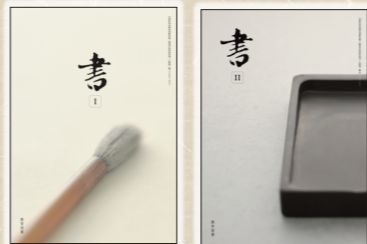
鮮明で原本に忠実な拡大図版を掲載。原寸と見比べることで、書風やいろいろな特徴が見えてきます。

「三つの視点」
図版のどこを見るか、「字形」「構成」「用筆・運筆」の「三つの視点」から意識できます。

往還学習をサポートする「more」
表現編と鑑賞編を往還するための参照ページに加え、双方の学習を充実させる「more」マークでさらに知識を深めます。

表現と鑑賞の往環学習!

表現活動と鑑賞活動それぞれを互いに高め合う。



圧倒的な資料の数!

作品と出逢うきっかけはできるだけ多い方が良い。



[書I 006-901] p.16-17

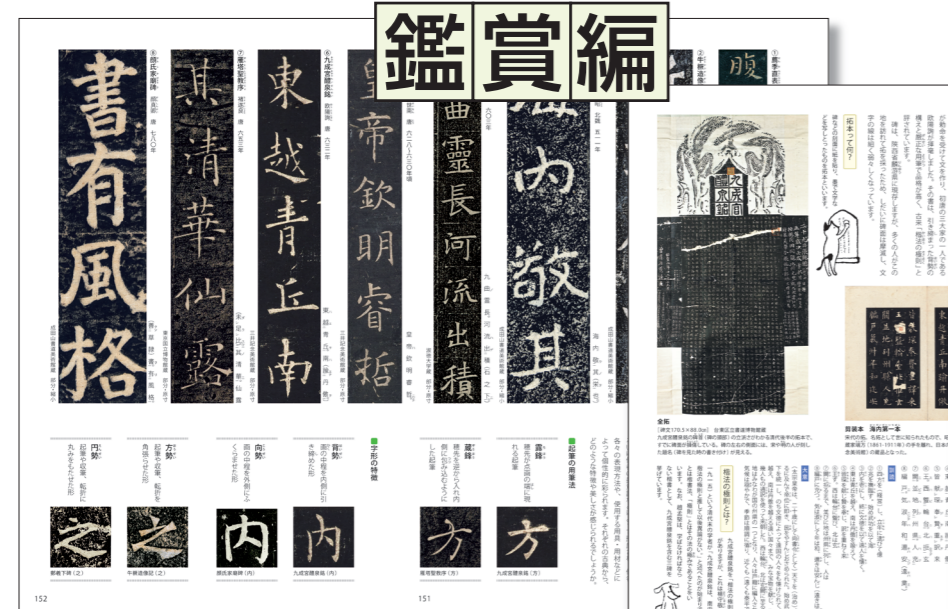
往還学習で、思考力・判断力・表現力が身につきます!

表現編



ひとつの作品を「作品→時代背景→解説」まで取り上げることで、広く、深く学ぶことができます。

[書I 006-901] p.18-19



[書I 006-901] p.151-152

[書I 006-901] p.115



[書I 006-901] p.113

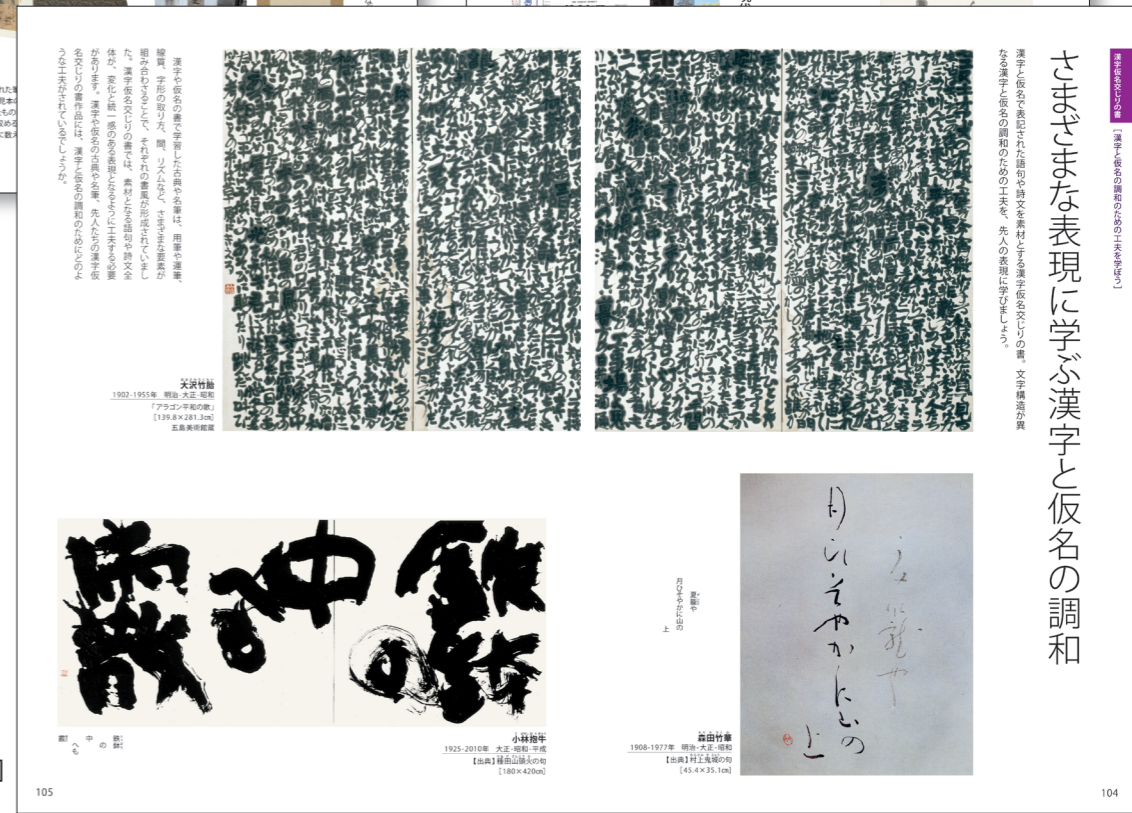
鑑賞編

多様な作品を鑑賞することで、生徒の作品制作への意欲・関心を高めます。

[書I 006-901] p.123



[書I 006-901] p.87



[書II 006-901] p.104-105

教育図書の教科書は指導書が使いやすい!!

書 I 指導資料 [書 I 006-901]

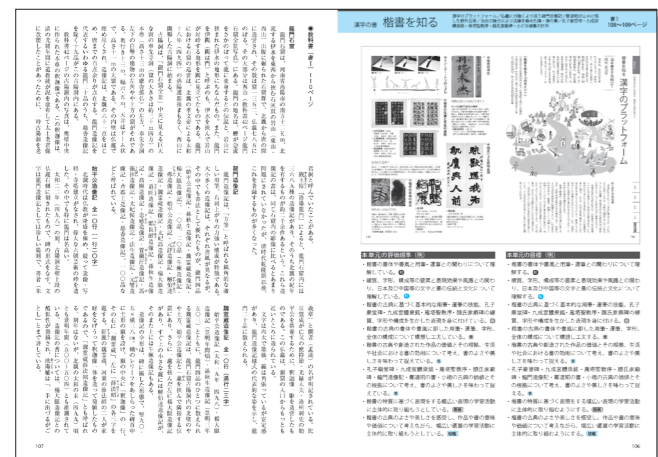


『書 I 指導資料』セット 税込 18,700 円

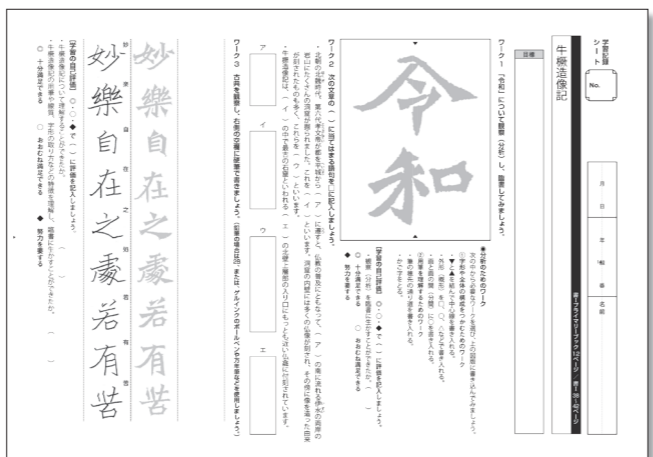
- ①『書 I』指導資料 (本体) B5 判 216 ページ
- ②サポートデジタルコンテンツ (配信)
 - 【収録内容】
 - 1 教科書素材集 (本文テキストデータ・図版データ)
 - 2 評価ワークシート集 (pdf 形式 / Word 形式)
 - 3 準拠シラバス・評価規準例
 - 4 鑑賞学習用映像教材 (動画 4 種)
 - 5 拓本の採り方 (動画)
 - 6 一文字印「桜(櫻)」の制作 (動画)
- ③指導者用デジタル教科書 (DVD-ROM) ※みらいスクールプラットフォーム



①『書 I』指導資料 (B5判・216ページ)



準拠シラバス・評価規準例をはじめ、年間指導計画、表現編と鑑賞編それぞれの授業だけでなく、両編を組み合わせた授業展開まで想定した学習指導案例を掲載します。
仕様: B5 判 2 色刷 216 ページ



後半には全単元対応のワークシートが入っています。知識・技能の確認や振り返りだけでなく、思考力・判断力・表現力を養うための評価ワークシートです。表現と鑑賞の往還学習にも最適です。
※サポートデジタルコンテンツとして、pdf 版 / Word 版 / 解答朱書き版を収録。

②サポートデジタルコンテンツ



インターネットを通して利用いただけます。教科書素材集、評価ワークシート集、準拠シラバス・評価規準例は、Word・Excel で開いてご使用ください。

③指導者用デジタル教科書



『書 I』教科書紙面データを収録。画面左端のツールバーを利用することで簡単に操作できます。

『書 I』[書 I 006-901] 二次元コード収録内容&教科書掲載ページ

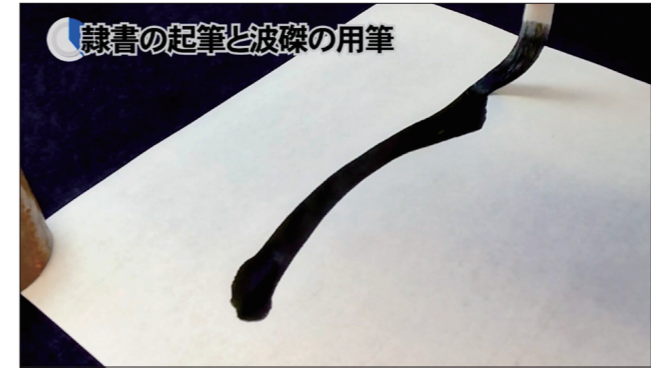


〈筆順アニメーション動画〉



- 大道 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.13
- 清泉 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.17
- 無門 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.21
- 武道 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.25
- 令和 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.29
- 永和 筆順と書風を読み解くヒント ▶P.31

〈運筆動画〉



- 篆書の横画の用筆 ▶P.47
- 隷書の起筆と波磔の用筆 ▶P.45

〈オリジナル動画〉



- 刻し方 (白文・朱文の運刀) ▶P.51
- 白文印「陸」の製作 P.51
- 筆・墨・硯・紙のおもな製法 (動画) P.149
- 墨の磨り方 (動画) ▶P.145
- 拓本の採り方 (動画) ▶P.151

〈その他資料〉

- おもな硯の種類 ▶P.149
- 墨色を探る ▶P.149
- さまざまな筆、筆に使われるおもな動物の毛 ▶P.149
- さまざまな仮名の料紙、仮名の料紙の大きさ ▶P.149

〈pdf資料〉

- 蓬萊切の料紙 ▶P.63
- はがきの書き方 ▶P.79
- 封筒の書き方 ▶P.79
- 手紙の書き方 ▶P.79
- 書を収蔵する日本のおもな美術館・博物館 ▶P.165

〈外部サイト〉

美術館・博物館ホームページリンク
故宮博物院 (北京) / 國立故宮博物院 (台北) / 東京国立博物館 / 皇居三の丸尚蔵館 / 正倉院 (宮内庁) / 五島美術館 / 出光美術館 / 曼殊院 / 遠山記念館 and more
※一部原寸大の資料が見られます。





鑑賞編

「知るよろこび」と「腑におちる体験」を重ねて欲しい！
段階的・系統的に各領域の内容を詳しく、広く学ぶことができます。

[書II 006-901] p.58-59

雲夢睡虎地秦簡
雲夢睡虎地秦簡は、一九七五年に陝西省雲夢縣出土した秦代（紀元前221～前206年）の竹簡群である。約二千五百枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、秦代の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

馬王堆帛書
馬王堆帛書は、一九七三年に湖南省長沙市馬王堆漢墓から出土した西漢初期（紀元前206～前202年）の帛書群である。約二万五千枚の帛書が出土し、その中には「老子」「周易」「天文図説」などが含まれている。この発見は、西漢初期の思想文化や科学技術を知る上で極めて重要な資料とされている。

居延漢簡
居延漢簡は、一九三〇年に甘肃省居延漢塞出土した西漢中葉（紀元前141～前87年）の竹簡群である。約二万五千枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、西漢中葉の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

雲夢睡虎地秦簡
雲夢睡虎地秦簡は、一九七五年に陝西省雲夢縣出土した秦代（紀元前221～前206年）の竹簡群である。約二千五百枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、秦代の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

目録
本書は、書道の世界を広く紹介し、その歴史や文化について詳しく解説しています。また、最新の研究成果や資料も取り上げています。

馬王堆帛書
馬王堆帛書は、一九七三年に湖南省長沙市馬王堆漢墓から出土した西漢初期（紀元前206～前202年）の帛書群である。約二万五千枚の帛書が出土し、その中には「老子」「周易」「天文図説」などが含まれている。この発見は、西漢初期の思想文化や科学技術を知る上で極めて重要な資料とされている。

雲夢睡虎地秦簡
雲夢睡虎地秦簡は、一九七五年に陝西省雲夢縣出土した秦代（紀元前221～前206年）の竹簡群である。約二千五百枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、秦代の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

居延漢簡
居延漢簡は、一九三〇年に甘肃省居延漢塞出土した西漢中葉（紀元前141～前87年）の竹簡群である。約二万五千枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、西漢中葉の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

[書II 006-901] p.61
作品の背景を知ること、鑑賞の学びをより深めることができます。生涯にわたって書を愛好する心情を育みます。

雲夢睡虎地秦簡
雲夢睡虎地秦簡は、一九七五年に陝西省雲夢縣出土した秦代（紀元前221～前206年）の竹簡群である。約二千五百枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、秦代の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

居延漢簡
居延漢簡は、一九三〇年に甘肃省居延漢塞出土した西漢中葉（紀元前141～前87年）の竹簡群である。約二万五千枚の竹簡が出土し、その中には「法律文書」「行政文書」「私文書」などが含まれている。この発見は、西漢中葉の社会情勢や法律体系を知る上で極めて重要な資料とされている。

[書II 006-901] p.60

表現編

「臨書や創作は、自分を見つめ、自分を知り、さらに相手を知るための学びでもある」との思いを込めています。

[書II 006-901] p.22-23

鑑賞に必要な知識や、学びを深めるポイントをわかりやすく解説しています。

書へのいざない
[書II 006-901] p.50

「書II 006-901」おもな掲載古典作品

- 表現編
- 石鼓文／泰山刻石／乙瑛碑
- 曹全碑／居延漢簡／書譜
- 十七帖／風信帖（忽惠帖）
- 高野切古今和歌集（第一種）
- 鑑賞編
- 甲骨文／召尊／石鼓文・泰山刻石
- 雲夢睡虎地秦簡／馬王堆帛書
- 居延漢簡／開通褒斜道刻石
- 石門頌／乙瑛碑・曹全碑
- 書譜／十七帖／祭姪文稿
- 蜀素帖／伊都内親王願文
- 饗天子碑／始平公造像記
- 張猛龍碑／孟法師碑
- 古今和歌集の古筆
- 関戸本古今和歌集
- 高野切古今和歌集（第一種）

書へのいざない
[書II 006-901] p.8

[書II 006-901] p.22-23

落ち着いた色合いの鮮明な図版を掲載しました。臨書のための大きな拡大図版と、原本のたたずまいを大切にする図版を見比べることで気づきを促します。

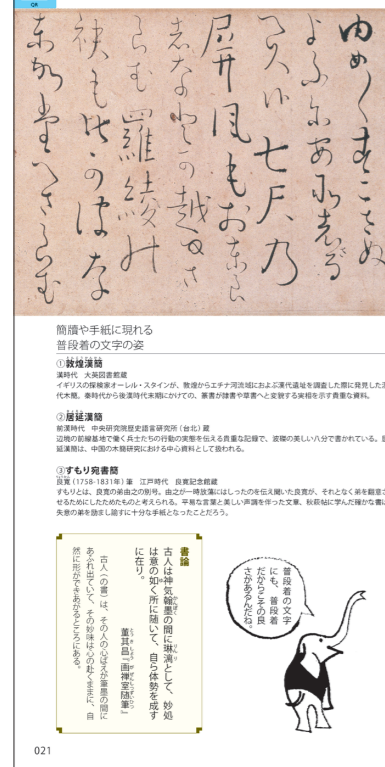
「書へのいざない」は、鑑賞の学びのめあてにもなります。

「書へのいざない」では、表現の学びに導きます。

「書Ⅲ」(書Ⅲ 702)の特徴

書Ⅰ、書Ⅱの学習を経て、書Ⅲでは、表現と鑑賞の本質に迫る学習へと進みます。これまでをふり振り返りつつ、書という芸術について迫ります。

表現を知る



簡潔や手紙に現れる
普段の文字の姿

① 藤原純経
1000-1050年 藤原-大正-昭和
「平家物語」の「藤原純経」の文字の姿

② 藤原経経
1000-1050年 藤原-大正-昭和
「平家物語」の「藤原経経」の文字の姿

③ 足利三代義満
1474-1507年 室町-大正-昭和
「足利三代義満」の文字の姿

自分らしさ・あの人らしさ

「自分らしさ・あの人らしさ」の表現を知る

① 平賀源一
1733-1821年 江戸-大正-昭和
「平賀源一」の文字の姿

② 平賀源一
1733-1821年 江戸-大正-昭和
「平賀源一」の文字の姿

③ 平賀源一
1733-1821年 江戸-大正-昭和
「平賀源一」の文字の姿

[書Ⅲ 702] p.20-21

書を知る

思いを形にするために

「思いを形にするために」の表現を知る

① 上原謙
1907-1997年 明治-大正-昭和-平成
「上原謙」の文字の姿

② 上原謙
1907-1997年 明治-大正-昭和-平成
「上原謙」の文字の姿

③ 上原謙
1907-1997年 明治-大正-昭和-平成
「上原謙」の文字の姿

人の書の背景にある思いや個性を感じ取る力を身につけ、自分の思いを形にする力を育みます！

「書Ⅲ 702」おもな掲載古典作品

- 表現を知る
- 小臣餘儀尊／散氏盤／郭店楚簡
- 長沙子弹庫楚帛書／礼器碑／西狭頌／張遷碑
- 喪乱帖／魏靈藏造像記／皇甫誕碑
- 多宝塔碑／光明皇后臨窆教諭
- 金剛般若經開題殘卷／頭弁帖／古今和歌集の古筆
- 曼殊院本古今和歌集／継色紙／関戸本古今和歌集
- 龜山切／万葉集の古筆／金沢本万葉集
- 五大万葉集／私家集の古筆／一条撰政集
- 中務集

書に学んだきみたちへ

「書に学んだきみたちへ」の表現を知る

① 書に学んだきみたちへ
「書に学んだきみたちへ」の文字の姿

② 書に学んだきみたちへ
「書に学んだきみたちへ」の文字の姿

③ 書に学んだきみたちへ
「書に学んだきみたちへ」の文字の姿

[書Ⅲ 702] p.8

鑑賞を知る

鑑賞を知る

「鑑賞を知る」の表現を知る

① 鑑賞を知る
「鑑賞を知る」の文字の姿

② 鑑賞を知る
「鑑賞を知る」の文字の姿

③ 鑑賞を知る
「鑑賞を知る」の文字の姿

[書Ⅲ 702] p.86

令和9年新刊「書Ⅱ」の特徴

資料編 ～書の文化～

資料編では、表現や鑑賞のための幅広い知識を身につけられるようにしました。

[書Ⅱ 006-901] p.116-117

現代の書のパイオニア

「現代の書の表現を知る」の表現を知る

① 安藤望空
1893-1983年 明治-大正-昭和
「安藤望空」の文字の姿

② 手塚善雄
1901-1987年 明治-大正-昭和
「手塚善雄」の文字の姿

③ 金子静子
1905-2001年 明治-大正-昭和-平成
「金子静子」の文字の姿

④ 西川家
1902-1959年 明治-大正-昭和
「西川家」の文字の姿

⑤ 上原謙
1907-1997年 明治-大正-昭和-平成
「上原謙」の文字の姿

⑥ 藤田鳴鶴
1900-1977年 明治-大正-昭和
「藤田鳴鶴」の文字の姿

⑦ 白土静吉
1901-1985年 明治-大正-昭和
「白土静吉」の文字の姿

⑧ 藤田静子
1900-1989年 明治-大正-昭和
「藤田静子」の文字の姿

⑨ 結末藤村
1889-1976年 明治-大正-昭和
「結末藤村」の文字の姿

⑩ 松井祐之
1900-1988年 明治-大正-昭和
「松井祐之」の文字の姿

⑪ 上田藤雄
1899-1968年 明治-大正-昭和
「上田藤雄」の文字の姿

⑫ 藤村健由
1913-2009年 大正-昭和-平成
「藤村健由」の文字の姿

書の変遷のほか、さまざまな書と出会う機会を増やすために、近現代の書家や文化人の作品を数多く掲載し、書と周辺文化の幅広い学びに配慮しています。

「書の変遷を知る」の表現を知る

① 書の変遷を知る
「書の変遷を知る」の文字の姿

② 書の変遷を知る
「書の変遷を知る」の文字の姿

③ 書の変遷を知る
「書の変遷を知る」の文字の姿

◀ 作品を深く知るためには、その時代に想いを馳せることも大切です。本文と連動した年表でサポートします。

[書Ⅱ 006-901] p.124-125

書Ⅱ 指導資料も鋭意制作中！ ご期待ください。

教育図書 書道教科書 著作者一覽

○『書Ⅰ』 [書Ⅰ 006-901] 著作者

澤田雅弘 大東文化大学教授 群馬大学名誉教授

辻元大雲 書家 書道芸術院顧問

土橋靖子 書家 日展理事

名児耶明 筆の里工房館長

福井淳哉 帝京大学准教授

松尾 治 専修大学准教授

荒井一浩 大野幸子 加藤眞太郎

後藤 浩 五月女章子

顧問

關 正人 篆刻家 日展会員

編集協力者

稲村龍谷 早川忠文 日野楠雄

○『書Ⅱ』 [書Ⅱ 006-901] 著作者

澤田雅弘 大東文化大学教授 群馬大学名誉教授

辻元大雲 書家 書道芸術院顧問

土橋靖子 書家 日展理事

名児耶明 筆の里工房副館長

福井淳哉 帝京大学准教授

松尾 治 専修大学准教授

荒井一浩 大野幸子 加藤眞太郎

後藤 浩 五月女章子

顧問

關 正人 篆刻家 日展会員

編集協力者

稲村龍谷

○『書Ⅲ』 [書Ⅲ 702] 著作者

澤田雅弘 大東文化大学教授 群馬大学名誉教授

辻元大雲 書家 書道芸術院顧問

土橋靖子 書家 日展理事

名児耶明 筆の里工房館長

福井淳哉 帝京大学准教授

荒井一浩 大野幸子 國定 貢 後藤 浩

鈴木幸子 五月女章子 松尾 治

顧問

關 正人 篆刻家 日展会員

編集協力者

稲村龍谷

